

平成24年3月期 決算説明会

平成24年6月15日



イメージ情報開発株式会社

大証JASDAQ：証券コード 3803

I グループ概要

II 平成24年3月期 決算概要

III 3か年経営計画



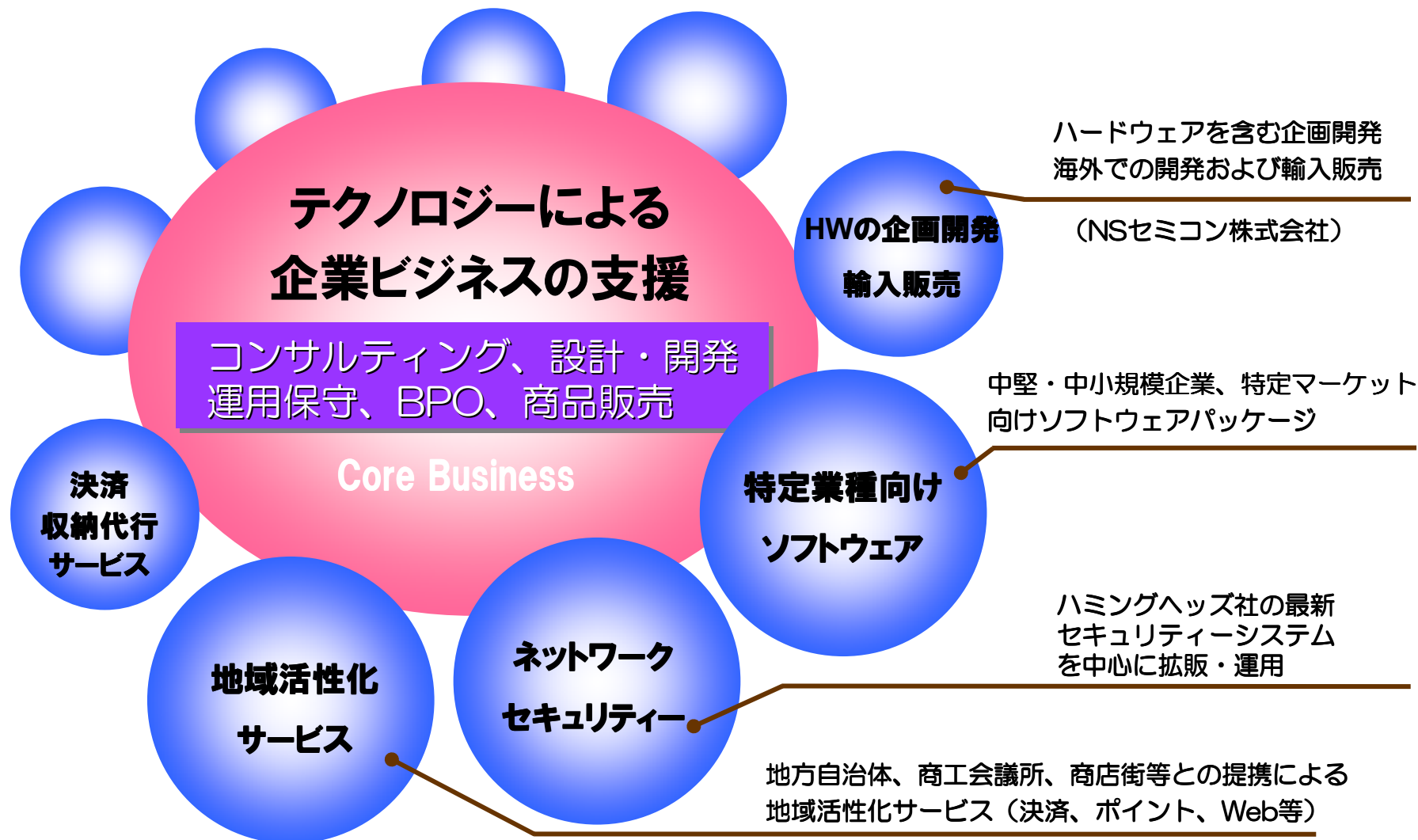
イメージ情報開発株式会社 会社概要

【設立】	1975年（昭和50年）10月
【代表者】	代表取締役会長 代永 衛 代表取締役社長 代永 拓史
【資本金】	4億6,705万円
【事業内容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子会社】	2社（NSセミコン株式会社、イクオス株式会社）
【沿革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年4月 ITコンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年9月 インターネットデータセンター開設 平成18年4月 大阪証券取引所へ上場（現JASDAQ）へ株式上場 平成19年5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年7月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立 平成23年7月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転



イメージ情報開発グループについて

■ システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得られる製品・サービスで構成します。



I グループ概要

II 平成24年3月期 決算概要

III 3か年経営計画



業績ハイライト

■ 当連結会計年度業績

◎ 売上高 729百万円(前期:813百万円)

システム構築受注案件は拡大するも、運用/保守分野が前期大型案件終了に伴い大幅減

◎ 経常利益 6百万円(前期:経常損失 85百万円)

徹底した経費削減効果により経常黒字に転換

◎ 純損失 118百万円(前期:純損失 108百万円)

不採算事業における体制の見直し、および投資先の状況や保有株式の評価損を保守的に特別損失として計上

■ 事業進捗状況

IT総合ソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

◎ IT支援サービスの推進

- ・ 大型案件を含む大企業からのシステム設計開発案件の受注増
- ・ スマートフォンおよびデジタルサイネージソリューションの強化
- ・ 人材教育、技術蓄積の強化

◎ ハードウェア関連サービスの推進

- ・ 電子機器、LED等のソリューション販売が堅調に推移

◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能向上、プロモーション強化（A-PACK2011および月刊カートンボックスセミナー講演）
- ・ 観光情報発信ソリューション「Easy Navi」の開発

◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 商工会議所ならびに地域商店街等向けのクレジット決済サービスの取扱拡大
- ・ デジタルサイネージによる地域活性化サービスの本格稼働



業績ハイライト

■ 経営インフラの強化を実施

◎ 管理体制の強化

全社組織の見直し、プロジェクト管理体制、要員管理体制を強化
不採算プロジェクトの低減

■ 企業投資・提携

◎ ハミングヘッズ社との新規提携

- ・ 新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携

◎ ストリートメディア社との提携強化

- ・ ストリートメディア社のデジタルサイネージによる街や商業施設・地域への情報配信ビジネスとのシナジー効果を想定し、デジタルサイネージ関連事業を共同で推進



損益計算書【連結】

【単位：百万円】

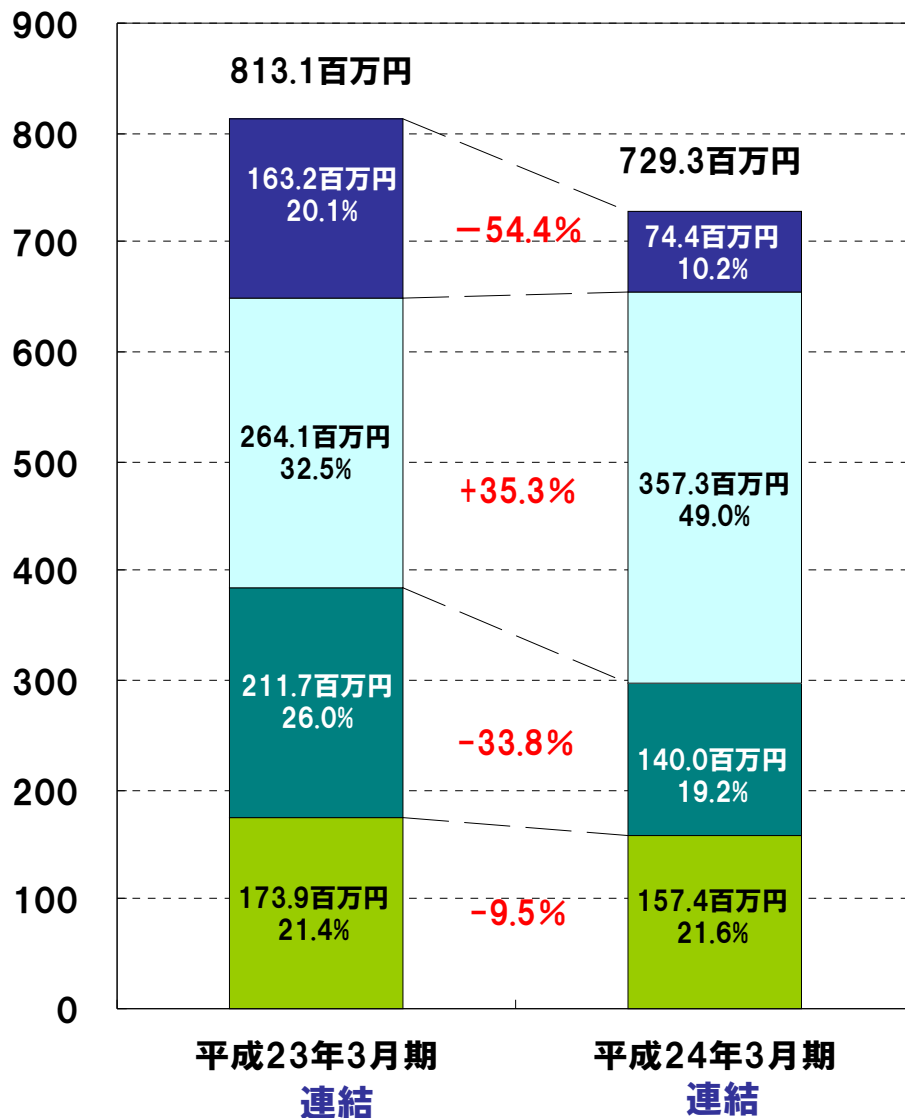
	平成23年3月期	平成24年3月期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率 (%)
売上高	813	729	△84	△10.3
売上総利益	219	263	44	20.1
販管費	372	269	△103	△27.7
営業利益	△153	△6	147	—
経常利益	△85	6	91	—
当期純損失	△108	△118	△10	—

- ✓ 売上高：システム構築案件の増加、運用／保守分野の減少
- ✓ 営業利益：徹底した経費削減効果により大幅改善
- ✓ 経常利益：経常黒字に転換
- ✓ 当期純損失：貸倒引当金繰入額、投資損失引当金繰入額等を保守的に特別損失に計上



売上構成【連結】

【単位:百万円】



商品販売

半導体製品、パッケージソフト販売の伸び鈍化

コンサルティング/設計/構築

大企業からの受注を中心に案件数が増加

運用/保守

設計案件完了後の保守が翌期にずれ込み

BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱拡大、デジタルサイネージによる地域活性化サービスの本格稼働



バランスシート【連結】

【単位：百万円】

	平成23年3月期	平成24年3月期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率 (%)
資産合計	1,023	927	△96	△ 9.4
流動資産	767	759	△8	△ 1.1
固定資産	256	167	△88	△ 34.5
負債合計	212	232	19	9.2
流動負債	133	144	10	7.8
固定負債	78	87	9	11.6
純資産合計	811	695	△118	△ 14.6
負債純資産合計	1,023	927	△96	△ 9.4

- ✓ 流動資産：現預金 34百万円増、受取手形及び売掛金 31百万円減
- ✓ 固定資産：投資その他の資産 90百万円減、有形固定資産 8百万円増
- ✓ 流動負債：買掛金 6百万円増
- ✓ 固定負債：受入敷金保証金 8百万円増
- ✓ 純資産：利益剰余金 118百万円減



キャッシュフロー【連結】

【単位：百万円】

	平成23年3月期	平成24年3月期	対前期比
	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュフロー	△204	33	237
投資活動によるキャッシュフロー	△89	1	90
財務活動によるキャッシュフロー	△0	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△293	34	327
現金及び現金同等物の期末残高	148	183	35

- ✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純損失 127百万円
貸倒引当金の増加額 56百万円
破産更生債権等の減少額 54百万円
- ✓ 投資活動CF：敷金及び保証金の回収による収入 44百万円
- ✓ 財務活動CF：過年度の未払配当金支払のみ、ほぼ動き無し

- I グループ概要
- II 平成24年3月期 決算概要
- III 3か年経営計画

3か年経営計画

平成25年3月期～平成27年3月期

平成24年6月15日



イメージ情報開発株式会社

3か年経営計画 はじめに（現在のとりまく環境）



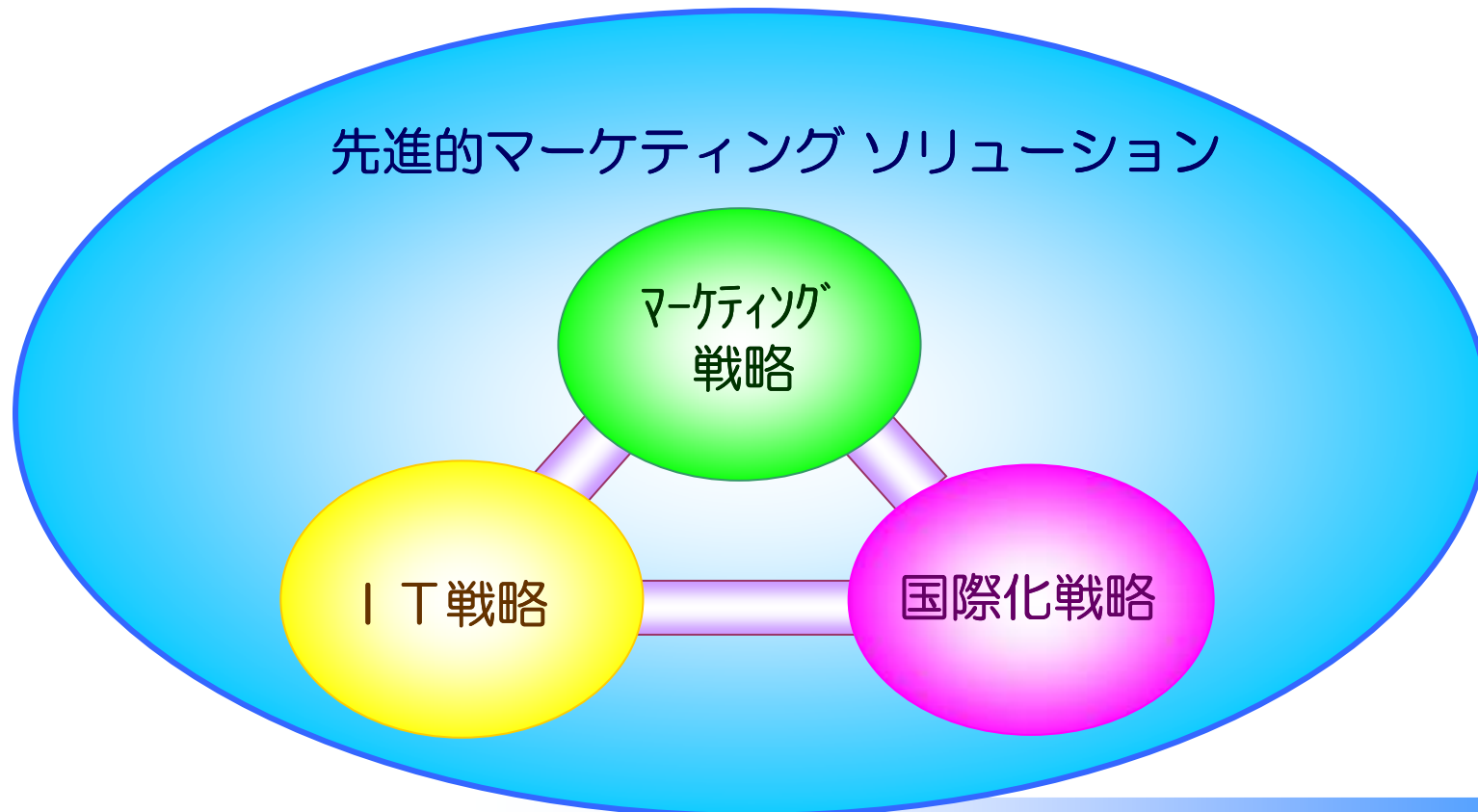
- 世界経済は激しくまた不安定に変化し続けています。技術の特にデジタル技術の革新は激化する中グローバルでの強烈な低価格競争をも引き起こしています。更に不安定な世界経済がもたらす世界通貨に対する円高傾向。日本を代表する世界企業は今まで経験も無い非常事態を呈しています。ましてや中堅中小は単なる海外進出では解決できず、事業からの撤退も数多く見られます。
- 製造工場の海外進出は無論のこと小売やサービスまでもが縮小した国内市場からアジアを中心に海外市場へとその活路を求め始めています。
- 技術さえ優れていれば何とかなどの日本型経営が「ガラパゴス」状態を引き起こし、挙句に世界標準を確保にも立ち遅れています。
- 日本の大メーカーの研究開発費は優れた製品開発に費やされます。一方韓国メーカーはかなりのウェイトでマーケティングに充当しています。
- 一方技術情報漏洩の国際的対応にも注視せねばなりません。



- ☆ 今や企業の大小を問わず企業経営に求められているのは国際化戦略を含めたマーケティング戦略そしてそれらを支えるIT戦略と確信します。そして企業経営者はITを理解し、国際化にも視野を持ったマーケッターであるべきです。
- ☆ 当社はビジネスインテグレータを標榜し、IT戦略を核に企業ビジネスのサポートを基本方針としてまいりましたが、時代の変化、求めに応じて「先進的マーケティングノウハウとそれを支えるIT機能を駆使し、変革を求める企業の経営を支援する」とする新たな理念の下大きく飛躍します。その目的のため実績豊富な特異性を有する諸企業との提携や経営統合を視野に入れ数々のテーマを既に共有し始めております。
- ☆ その結果広範な機能の強化(ドメインの拡大)によりで売上利益とも大幅に拡大するものと確信致しております。



- マーケティングコンサルティング
- システム企画開発
- ビジネスモデル構築
- 業務処理代行



独創的ビジネスモデルで時代の変化に対応

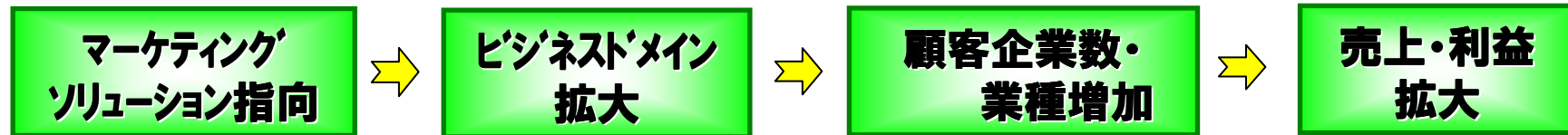
- (1) 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンスを実施する。
- (2) 時代の要請に沿ったビジネスモデルを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- (3) 短期的には営業利益の黒字化を最優先し、中期的には売り上げ及び利益の倍増をめざす。

当社のIT総合サービス



- 技術開発による事業基盤の強化
製品・サービスの開発
- 他社の追従を許さない
独自のトータルサービス
- 高付加価値データセンター
- グループ内の連携プレー

経営効率化と業容拡大を目指します。



(1) 本社2事業部への統合による効率化

(2) 新規プロジェクト

内部情報漏洩セキュリティのパイオニア「ハミングヘッズ社」とのプロジェクト開始

(3) 関連会社の活性化と出資先企業との協業の推進

(4) 特異性を有する企業との提携・経営統合

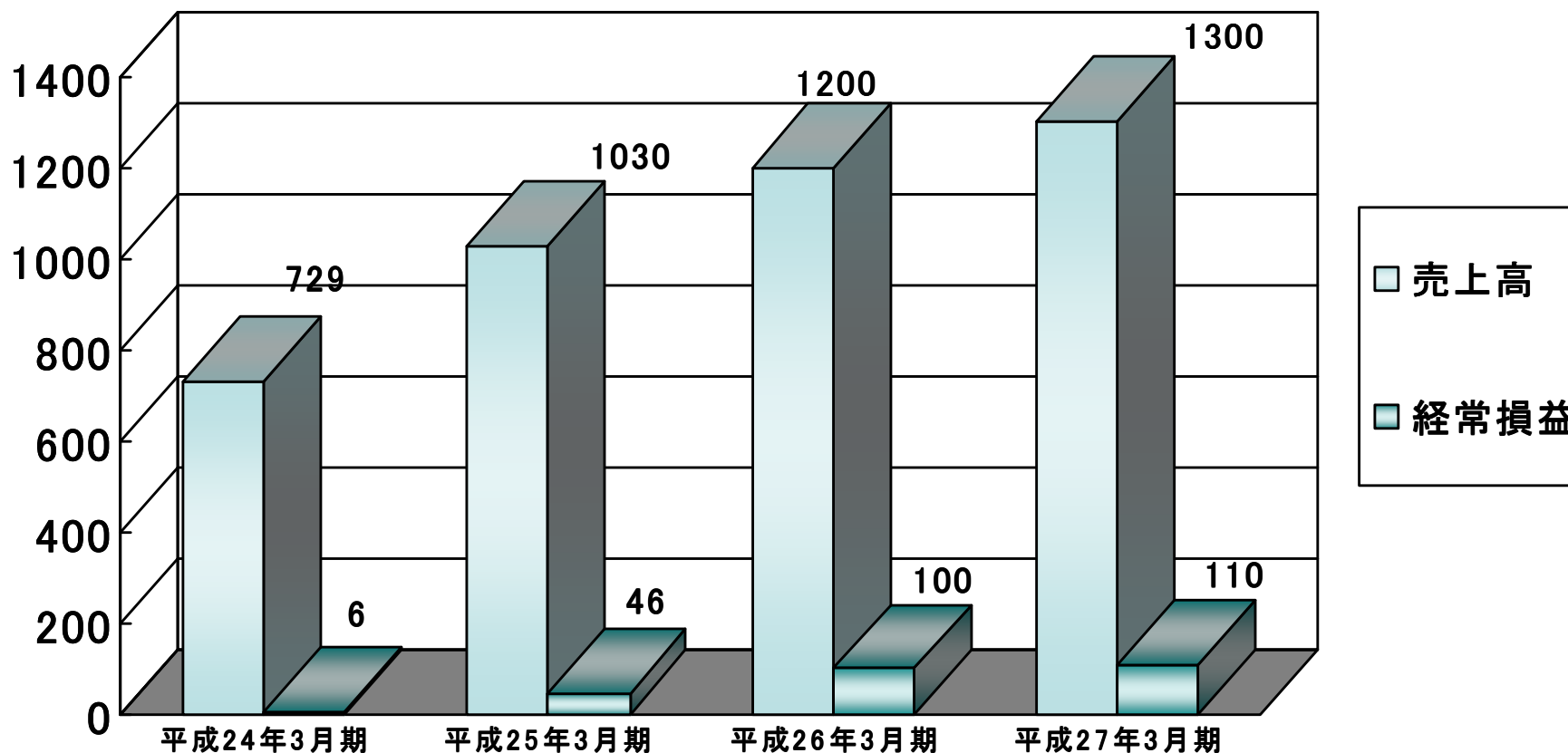
マーケティング関連企業他



3か年計数計画

- 平成25年3月期 売上高1,030百万円、経常利益 46百万円
- 平成26年3月期 売上高1,200百万円、経常利益100百万円
- 平成27年3月期 売上高1,300百万円、経常利益110百万円

【単位:百万円】





平成25年3月期の計画【連結】

■ 売上増、収益性改善、コスト削減により、増収、黒字化

【単位：百万円】

	平成24年 3月期 (実績)	平成25年3月期 計画			
		上期	下期	通期	増減率(%)
売上高	729	389	641	1,030	41.2
営業損益	△6	△13	59	46	—
経常損益	6	△13	59	46	766.7
当期純損益	△118	△14	58	44	—

■ 下期に黒字化

- ・ システム構築案件の増加による収益向上
- ・ 自社製プロダクト販売等、新規サービスの売上増加による収益性向上
- ・ 子会社の活性化、新規提携推進による新分野開拓



本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。